

再評価結果（平成29年度事業継続箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課

担当課長名： 渡邊 浩司

事業名	都市計画道路 和戸町竜王線（中央4丁目工区）		事業区分	街路	事業主体	甲府市
起終点	起点	山梨県甲府市中央四丁目			延長	0.3km
	終点	山梨県甲府市相生二丁目				
事業概要	<p>和戸町竜王線は、甲府市和戸町を起点とし、甲斐市新堰橋の国道20号に至る4車線の幹線道路であり、今後建設が予定されている新山梨環状道路（仮称）和戸ICと接続予定である等、山梨県内道路ネットワークを構成する重要な路線の一つである。甲府中心市街地は公共交通機関が脆弱な中で、マイカーや業務用車両等、自動車交通によるアクセスが悪く、郊外居住や人口減少により空洞化が進んでいる。このため和戸町竜王線を整備し、甲府都市圏の道路ネットワークを形成して、アクセス性の向上を図り中心市街地の都市としての機能を再構築することを目的として、道路改良および電線類地中化の整備を行う。</p>					
H23年度事業化	S21年度都市計画決定	H23年度用地着手	H28年度工事着手			
全体事業費	27億円	事業進捗率	78%	供用済延長	0km	
計画交通量	17,700台/日					
費用対効果分析結果	B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 1.7	総費用 (残事業)/(事業全体) 44.2/66.9億円 (事業費：44.2/66.9億円) (維持管理費：0.02/0.02億円)	総便益 (残事業)/(事業全体) 75.2/75.2億円 (走行時間短縮便益：55.0/55.0億円) (走行費用減少便益：12.7/12.7億円) (交通事故減少便益：7.5/7.5億円)	基準年 平成28年		
感度分析の結果	<p>残事業について感度分析を実施</p> <p>交通量：B/C=1.5~1.9 (交通量 ±10%)</p> <p>事業費：B/C=1.5~1.9 (事業費 ±10%)</p> <p>事業期間：B/C=1.6~1.8 (事業期間 ±1年)</p>					
事業の効果等	<p>・地域高規格道路アクセス道路として、広域的な地域間交流機能を補完するとともに、現道の渋滞緩和や歩行者・自転車の安全確保、災害時の避難路機能、緊急輸送機能の向上、観光産業への寄与などが見込まれる。</p>					
関係する地方公共団体等の意見	<p>・本事業への異論は特になし。</p>					
事業評価監視委員会の意見	<p>・事業の継続は妥当である。</p>					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	<p>・特になし。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等	<p>・現在、用地買収中及び埋蔵文化財調査の実施中。</p>					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	<p>・今後も引き続き用地取得の推進を図るとともに順次工事に着手しH32年度の完成を目指す。</p>					
施設の構造や工法の変更等	<p>・新技術・新工法や現地の状況も確認しながら積極的にコスト縮減を図っていく。</p>					
対応方針	事業継続					
対応方針決定の理由	以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。					
事業概要図						